

《 本 日 の 競 技 規 定 》

1 (公財)全日本空手道連盟(以下「全空連」と記す)競技規定、及び東毛ブロック大会申し合わせによる。

2 形競技は、フラッグ制トーナメント方式とする。

- (1) 幼年及び小学生の予選(ベスト8決定まで)は、基本形Ⅰ～Ⅳ、または、これに類するものの中から選定し、同じ形を繰り返し演武できるものとする。準々決勝以降は、予選で使った形、または、全空連指定形(第1・第2指定形)の中から選定し、演武する。同じ形を繰り返し演武しても良い。
- (2) 中学生の予選(ベスト8決定まで)は、基本形Ⅰ～Ⅳ、または、全空連指定形(第1・第2指定形)の中から自由選定とする。準々決勝以降は、基本形Ⅰ～Ⅳ、または、全空連競技形リストの中から、自由選定とする。ただし、予選で演武した形を繰り返しても良い。
- (3) 一般・マスターズの予選(ベスト8決定まで)は、全空連指定形(第1・第2指定形)の中から選定して、繰り返し演武できるものとする。準々決勝以降は、全空連競技形リストの中から選定し、繰り返し演武できるものとする。なお、準々決勝以降も予選で使用した形を繰り返し演武しても良い。
- (4) 決勝戦のみ1人演武とする。
- (5) 3位決定戦は行わない。

3 組手競技は、トーナメント方式とする。

- (1) 競技時間は、フルタイム1分30秒とする。勝敗は、6ポイント差とし、同点の場合は全空連競技規定により決定する。
- (2) 全ての種目において、足払い・投げ、倒れた相手への蹴り技は禁止とする。
- (3) 3位決定戦は行わない。

4 安全具を空手衣の下に装着すること。(JKF 公認)

- (1) ニューメンホー(V型以降なら可。)
- (2) 拳サポーター(小学生はリバーシブルを使用。中学生以上は赤・青のグローブを使用。)
- (3) ボディプロテクター(全員必ず着用。)
- (4) セーフティカップ(男子のみ)
- (5) インステップ・シンガード(全員必ず着用。)
- (6) テーピングは、大会ドクター及び大会審判長の許可があれば可。
- (7) 服装は、全空連の規定に従うこと。
- (8) 赤・青帯は、原則として各自が用意。